

地域の
かわら版

まるやま

第6号

協議会の体制づくり
若々ぞ...



丸山地域づくり協議会準備委員会では、12月16日と1月18日に代表者会議を開催し、準備委員会の体制、協議会の目標、名称などの話し合いを進めました。

準備委員会に移行して初の大きな会議となった、12月16日の第1回代表者会議では、サロンの会、イベントの会、ローズマリーを活かす会のそれぞれから、1名ずつ候補者を立て、投票により、準備委員会の役員を決定しました。その後、準備委員会予算の使い道について協議決定しました。

協議会の目標に使いたいフレーズ

自立 共存 共栄
協働 老いも若きも
笑顔あふれる 夢
希望 住みやすい
愛情 郷土愛
まどまり 共感



丸山の「こ」が好き



頌春

皆さんお正月はゆっくり過ごせましたか？

丸山の三嶋海岸から見た初日の出は、黄金色に輝き年の初めを祝ってくれました。

一刻一刻移り変わる空と海の色の変化が、美しい神秘の世界へと包み込んでくれます。

日の出を見守る人々に年初めの熱い思いが湧き出でて、言い難い感動を与えてくれました。

ここは島や半島で視界をさえぎられることなく、太平洋を見渡せるところ



投票の結果

準備委員会の役員に

委員長：渡邊利昌さん

副委員長：稲葉正義さん

会計：真田美佐子さん

が就任されました。

1月18日の第2回代表者会議では、協議会の目標と名称について話し合いを進めました。

協議会の目標では、代表者のメンバーが考えてきた素案や使いたいフレーズ

ーズなどを出し合い、慎重に意見交換を重ねました。特に重視したのは、「自立」という言葉です。協議会の目標の中に「自分達で出来ることは、自分達でやる」といった趣旨のフレーズを入れることが出来ないか熱心に話し合いを重ねました。ここで時間切れとなってしまったため、次回は、協議会の目標づくりから話し合いを再開します。現時点で、協議会の目標に使いたいフレーズを本紙左上にて紹介します。ご一読ください。

今年のお正月は日本全国荒れ模様のお天気でしたが、南房総は良いお天気に恵まれました。さすがに南房総です。気候が良いというのは、住んでいる人には当然で何とも思わないでしょうが、他所から来た人にとってはとてももうらやましいところですよ。

私たち支援員は、昨年春からこの地域づくりの仕事をはじめています。今年も勢いよく飛躍したいものです。

皆さまのご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。本年もよろしくお願いたします。



第2回 丸山農業祭 大勢の方で賑わいました

1月16日(日)、風が強いながらも無事お天気にめぐまれ、ローズマリー公園で『第2回丸山農業祭』が開催されました。この農業祭は、丸山地区のさまざまな団体が連携し、地場産の農林水産物を通して地域住民との交流をすることにより、活力のある地域づくりをしようという協働のイベントです。

また、有害鳥獣対策協議会によるイノシシ鍋の試食会や、嶺岡の航空自衛隊による米粉シチューなど、普段なかなか食べられないものが無料で振るまわれ、参加者のみなさまも長蛇の列をつくり、あたたかい汁物で体を温め、たくさんの笑顔があふれていました。

さらには三芳村の道の駅「鄙の里」や、山梨県富士吉田市などが応援にかけつけていただき、豊かになにげわいと交流がうまれ、他にも再受託者協議会のお米の掴みどりや、グリーンクラブからはお餅の提供、そして



農産物の直売は大にぎわい！

商工会のクレープや、丸山支所からは田楽や焼き芋などの、おまつりには欠かせない模擬店などがイベントの活性化に華を添え、地域が一丸となった素敵なマーケットが創り出され、記者も思わず両手いっぱいになるほどの買い物をしてみました。



イノシシ鍋の無料配布の列に並び・・・やっとあつつけたアツアツの猪のトン汁をみんなで試食会。たくさんの笑顔で「ハイ、ポーズ！」



マーケットを抜けると、広場では丸山フラダンスサークルによる演舞があり、寒い中にもかかわらず、みなさん裸足で寒さを感じさせない優雅な美しい踊りに元気をもらいました。



事務局として活躍された農業研究会のみなさん、出店された方々大変お疲れさまでした

編集後記

丸山のみなさま、はじめましてこんにちは。この度あらたに地域づくり支援員として丸山地区を担当させていただくことになりました 秋田 真介 と申します。

年始にあわたくし東京から引っ越してまいりまして、1月4日から丸山の地域づくりに合流しております。

ある方から、地域づくりにおいて『よそ者、若者、バカ者』のスパイスが良い味付けになることがあると言われました。

たとえば南房総は空が近く感じたり、アロエの花がいたるところで咲き誇っていたり、新鮮だからこそなのか・・・？いろいろなところに日々感動しております。

もちろん『郷に従い』みなさまに溶け込むことを最優先としたうえで、東京もんだからこそ、『よそ者若者バカ者』だからこそできることを自覚し、丸山のみなさまのために貢献できるよう精一杯尽力いたしますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします (秋田)